

社会的要請

- 社会全体の環境負荷低減
- 地球温暖化防止
- 廃棄物の削減

FDKのアプローチ

- 環境配慮製品の提供
- 生産性向上、設備の更新
- 有価物への転用、分別の徹底

環境保全活動のハイライト

第8期環境行動計画 目標6項目うち 3 項目達成	環境配慮設計 目標達成*	温室効果ガス削減 目標達成*	エネルギー効率改善 5拠点中 4 拠点達成
化学物質削減 4拠点中 3 拠点達成	廃棄物削減 5拠点中 4 拠点達成	地域環境・社会貢献 目標達成*	* 詳細のデータは次ページ参照

環境保全活動を支える取り組み

地球環境保全への対応

基本的な考え方

[FDKグループは地球を愛します かぎりある自然のために]のスローガンのもと、FDKグループでは、美しい地球環境が次の世代へと受け継がれるよう、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけており、事業の独自性を反映させた環境経営を推進しています。

FDKグループ環境憲章

FDKグループは、富士通グループの一員として企業の事業活動に伴う環境保全への取り組みについて、各国、地域の法規制対応や、温室効果ガス削減、廃棄物削減、化学物質管理の徹底のみならず、提供する製品を通しての環境負荷低減など、地球規模の視点で主体的に持続可能な循環社会実現に向けて行動しなければならないと認識しています。全社的に、より確かな環境経営を推進するため、「FDKグループ環境憲章」を制定しており、FDKグループのビジョンを包含して次のとおり展開しています。

FDKグループ環境憲章

FDKグループは、以下の環境理念のもと、スローガンを定め、環境経営を推進してまいります。

〈理念〉

FDKグループは、「電気エネルギーを効率的に利用する技術でグローバルに社会に貢献」をグループのミッションとし、Smart Energy Manager (スマート・エナジー・マネージャー)として、お客様にご満足いただくとともに、環境に貢献する電池、電子製品を中心とした製品を開発、供給し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

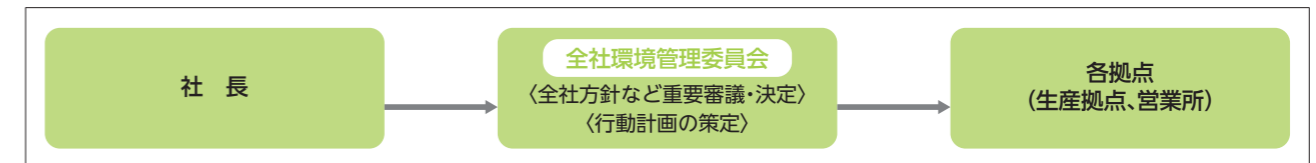
また、FDKグループは、豊かな自然・美しい地球環境を次世代に伝えていくため、環境法や環境上の規範を遵守した公正な企業活動を通じ、社員一人ひとりのもとより、「One FDK」として環境への取り組みを推進してまいります。

〈FDKグループ スローガン〉

FDKグループは地球を愛します かぎりある自然のために

以上

FDKグループ環境管理体制



FDKグループ第8期環境行動計画(2016年度～2018年度)

FDKグループでは、富士通グループ環境行動計画に準拠した3ヶ年計画を策定し、環境への取り組みを推進しています。これらの方針・目標などを通じて、全事業領域にわたり計画的かつ継続的に活動を展開し、自社の環境負荷低減に努めると

もに、お客様・社会の環境負荷低減に貢献しています。

2018年度の結果は下表となりました。未達成のテーマについては、原因の分析を行ない、新たな仕組みを構築することにより、対応してまいります。

項目	行動計画 (2016年～2018年)	2018年度	
		目標	実績
環境配慮設計	エネルギー効率改善(省エネルギー)に寄与する電池・電子製品を年1件以上開発する。	電池・電子製品を各拠点で年1件以上開発	(湖西)電源ユニット製品の開発 (高崎)リサイクル材を利用したニッケル水素電池の開発 (鳥取)筒形リチウム電池の容量向上
	資源効率改善(省資源)に寄与する電池・電子製品を年1件以上開発する。	電池・電子製品を各拠点で年1件以上開発	(湖西)DCDCモジュール製品の小型化 (高崎)低自己放電モデルのニッケル水素電池の開発
温室効果ガス削減	2018年度末までにエネルギー消費CO ₂ 排出量を2013年度比15%削減する。(46,169t以下に抑える)	国内FDKグループ全体で排出量を2018年度末までに46,169t以下に抑える	43,463t 老朽化設備の更新、照明LED化、エア漏れ対策などを実施
エネルギー効率	エネルギー消費原単位を年平均1%改善する。	年平均1%改善	4拠点で目標達成、1拠点で未達成
化学物質削減	2018年度末までにPRTR*対象物質排出原単位を2015年度比3%改善する。	各拠点で2015年度比3%改善	3拠点で目標達成、1拠点で未達成
廃棄物削減	2018年度末までに廃棄物発生原単位を2015年度比3%改善する。	各拠点で2015年度比3%改善	4拠点で目標達成、1拠点で未達成
地域環境・社会貢献	地域の環境貢献・社会貢献活動の取り組みを年2件以上実施する。	各拠点2件/年以上実施	P23およびP24をご参照ください。

* PRTR(化学物質排出移動量届出制度:Pollutant Release and Transfer Register):人の健康や生態系に有害な恐れのある化学物質について、事業所からの環境(大気、水、土壌)への排出量および廃棄物に含まれる事業所外への移動量を、事業者が自ら把握し国に対して届出るとともに、国は届出データや推計にもとづき、排出量・移動量を推計し、公表する制度。

ISO14001の認証範囲に国内営業所を追加

2018年度、ISO14001の認証範囲に国内営業所を追加しました。生産拠点と営業所が一体となり環境活動を進めてまいります。

㈱FDKエンジニアリングの工場コンパクト化による電力大幅削減

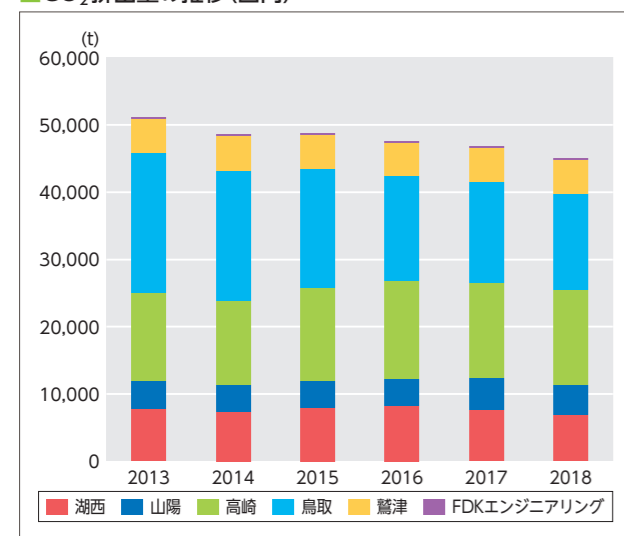
グループ会社である㈱FDKエンジニアリングでは耐震対策として工場の建て替えを行ないました。

これにあわせて以下のような建屋の省エネ対策を進めました。

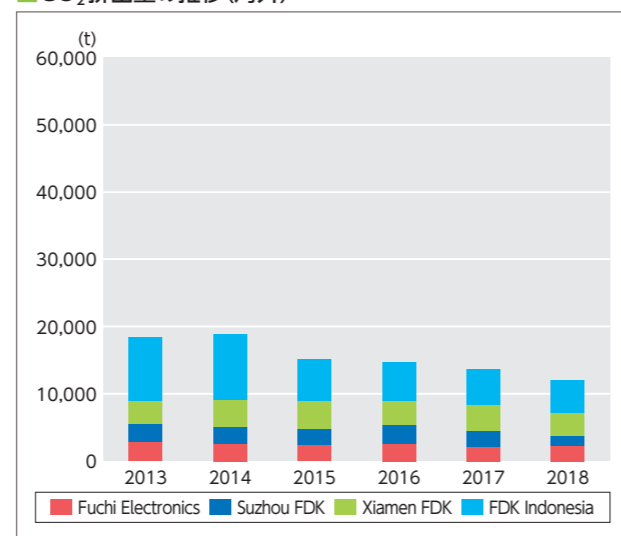
- ①工場内に移動式クレーンを設置し、生産効率を高め、作業ペースを縮小。
 - ②省エネ効果の高い屋根材、外壁、ペアガラス、省エネ空調、LED照明などを新工場に採用。
- これらの効果により、建物面積を25%削減。電力使用量を38%削減いたしました。

CO₂排出量の推移(国内、国外) 2013年度～2018年度

CO₂排出量の推移(国内)

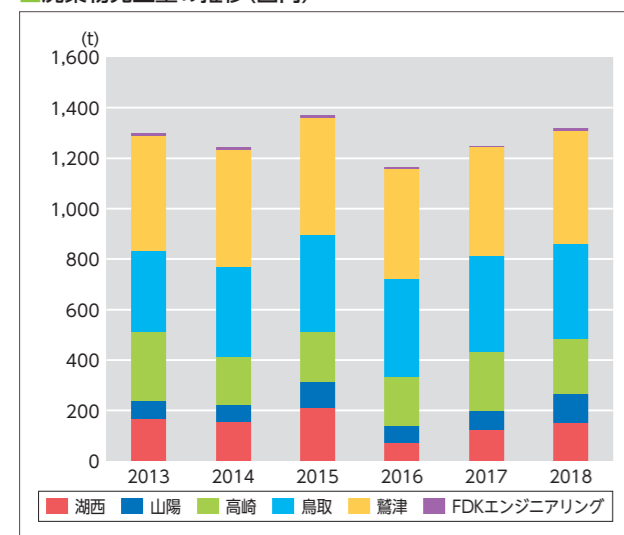


CO₂排出量の推移(海外)

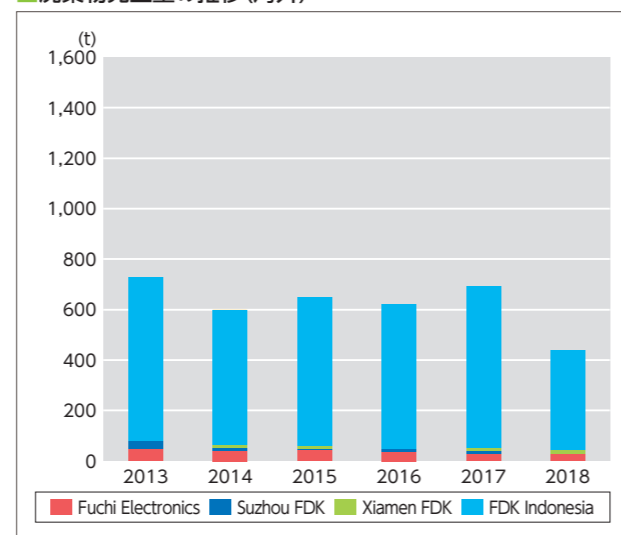


廃棄物発生量の推移(国内、国外) 2013年度～2018年度

廃棄物発生量の推移(国内)



廃棄物発生量の推移(海外)



事業所別環境パフォーマンスデータ

項目	(単位)	湖西工場	高崎工場	鳥取工場	鷺津工場	FDKエンジニアリング
CO ₂ 排出量	2018年度 前年度	6,830 7,772	14,179 14,171	12,524 15,004	5,142 5,105	158 239
水使用量	2018年度 前年度	94,707 84,024	22,699 24,179	69,520 98,717	44,865 46,691	747 739
PRTR対象物質排出量	2018年度 前年度	0 3	0 182	139 178	3 -	- -
SOx排出量	2018年度 前年度	- -	- -	- -	- -	- -
NOx排出量	2018年度 前年度	375 167	- -	1,728 4,688	- -	- -
ばいじん(測定濃度)	2018年度 前年度	- -	- -	0.001未満 -	- -	- -
排水量	2018年度 前年度	94,707 84,024	21,796 23,629	33,889 51,816	44,863 46,691	538 739
廃棄物	2018年度 前年度	153 122	218 231	380 380	449 433	10 5

項目	(単位)	FDK エコテック	Xiamen FDK	Fuchi Electronics	FDK Indonesia
CO ₂ 排出量	2018年度 前年度	28 25	3,517 3,720	2,319 2,227	4,795 2,412
水使用量	2018年度 前年度	- -	23,608 20,633	9,040 7,892	10,087 11,366
PRTR対象物質排出量	2018年度 前年度	- -	- -	- -	- -
SOx排出量	2018年度 前年度	- -	- -	- -	- -
NOx排出量	2018年度 前年度	- -	- -	- -	- -
ばいじん(測定濃度)	2018年度 前年度	- -	- -	- -	- -
排水量	2018年度 前年度	- -	18,886 16,506	9,040 7,892	10,087 11,366
廃棄物	2018年度 前年度	- -	12 10	26 7	397 645

*「-」は、集計対象外、該当なし、又は隔年で測定義務があるもので、当該年度の測定を行っていないものです。
 *購入電力についてはCO₂換算係数を0.57t-CO₂/MWhで計算し、CO₂排出量に算入。
 * Suzhou FDKは、2019年1月をもって操業を停止したため、上記より除外いたしました。
 * 山陽工場は同工場での生産製品事業の譲渡を2019年4月に決定したため、上記より除外いたしました。

「太陽とツナガル電池の音」コンサート

FDKでは、「電池を通して地球を考える」のテーマのもと、環境活動の一環として、希少楽器であるクラビオーラの世界唯一の奏者である折重由美子氏による、商用電源を使用せずニッケル水素電池のみを電源とした「太陽とツナガル電池の音コンサート」をサポートしています。2018年度は国内外で12回の公演を開催し、多くの方々に来場いただきました。FDKではこれからも自社の事業を活かした社会・環境貢献活動に取り組んでまいります。

